

K U D O N E W S

第39期 中間報告書 自平成21年7月1日 至平成21年12月31日

第26号

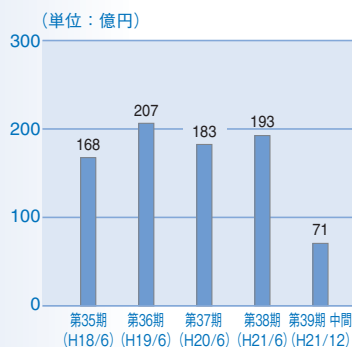
私たちは、常に時代を読み、新しい市場・技術・サービスを開発し、
フローレンスブランドを確立します。



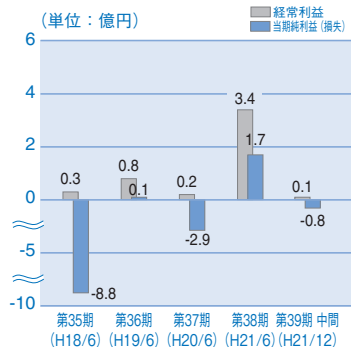
工藤建設株式会社

	第35期 (H18/6)	第36期 (H19/6)	第37期 (H20/6)	第38期 (H21/6)	第39期 中間 (H21/12)
					(単位：億円)
売上高	168	207	183	193	71
経常利益	0.3	0.8	0.2	3.4	0.1
当期純利益 (△当期純損失)	△8.8	0.1	△2.9	1.7	△0.8
総資産	177.3	166.9	151.2	146.2	135.1
株主資本	20.6	20.2	16.9	17.9	16.4
					(単位：円)
1株当たり					
純資産額	170.27	166.50	137.35	141.12	127.86
当期純利益 (△当期純損失)	△68.50	1.51	△22.99	13.40	△6.67
配当金	5	5	5	5	—

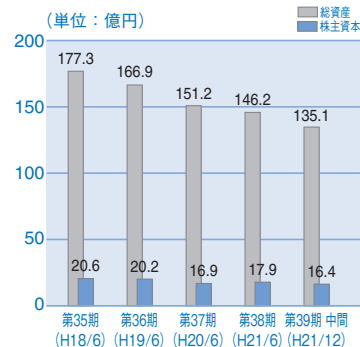
■ 売上高



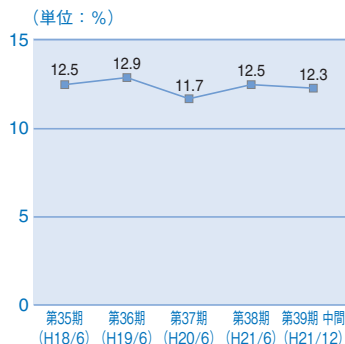
■ 経常利益/当期純利益 (損失)



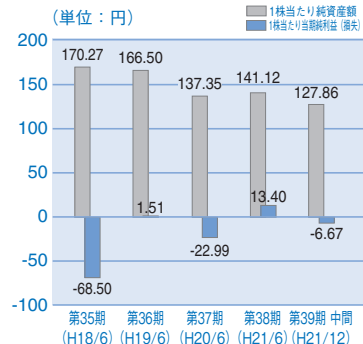
■ 総資産 / 株主資本



■ 自己資本比率



■ 1株当たり純資産額 / 1株当たり当期純利益 (損失)





代表取締役社長 工藤 英司

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、海外経済の改善などを背景に、一部持ち直しの兆しが見えたものの、デフレや消費マインドの冷え込み等により景気の先行きに対する不透明感は、拭い切れない状況となりました。また企業業績の低迷が続く中雇用情勢や所得環境の悪化により総じて厳しい状

況で推移いたしました。

当社が属します建設業界におきましても、政策面での事業仕分け等により、公共投資は減少を続け、民間設備投資についても依然大きく抑制されるなど、市場の縮小を背景に受注競争は一層厳しい状況となりました。住宅市場では、景気の不透明感による購買意欲の低下がさらに強まり、予断を許さない状況となっております。介護業界におきましては、高齢化社会の進展と共に業界の市場規模は増え続け、異業種からの参入が相次ぎ、収益基盤が悪化した事業者の生き残りをかけた合併・買収が増加いたしました。介護スタッフの待遇改善・確保は引き続き大きな課題となっております。

このような情勢の中、当社は「強く必要とされる企業」となることを目指し、ストック事業である建物管理事業、介護事業部門を強化し、安定的な利益を確保するなど他社との差別化をはかってまいりました。また神奈川・東京エリアを営業エリアとし、地域の人々に対して全てのライフステージにわたり居住し続けられる住まいを提案することを実現するための事業展開を行ってまいりました。

建設事業における民間工事部門では、賃貸マンションのオーナー様による「賃貸経営オーナー会」との定期的な親交を継続し、地域密着の営業活動に力を入れてまいりました。さらに建物管理部門との連携により、総合的なアフターフォローを強みとして、新規の管理物件の獲得に努めてまいりました。

また、不動産事業につきましては、新規プロジェクトとして宅地分譲、建売販売を行い厳しい経済環境の中で順調に推移いたしました。大型地下室付き輸入住宅を中心とする住宅部門におきましては、本社のショールームを、キッチン・ダイニング・リビングなど、住まいを見て触れることのできる体感型のショールームに全面リニューアルし、お客様が実際の暮らしをイメージできるスタイルにいたしました。

介護事業につきましては、平成21年5月に開所した「フローレンスケア横浜森の台」と既存施設を合わせ、合計9施設14事業所451床を運営しております。ご入居者の方々に対するサービスの質向上を目指し、より一層のサービスを提供できるようにスタッフの教育・待遇改善にも力を入れ組織体制を強化してまいりました。

以上の結果、当中間期における業績は、次のとおりとなりました。売上高は71億6百万円（対前年同期比21.5%増）、経常利益は14百万円（前中間会計期間経常損失2億76百万円）、そして中間純損失は86百万円（前中間会計期間中間純損失4億87百万円）となりました。

これを事業別のセグメントで見ますと、建設事業につきましては、売上高35億73百万円（対前年同期比56.7%増）で売上高全体に占める割合は50.2%、不動産事業につきましては、売上高20億57百万円（対前年同期比9.7%減）で売上高全体に占める割合は28.9%、介護事業につきましては、売上高14億74百万円（対前年同期比14.5%増）で売上高全体に占める割合は20.7%となりました。

当社は、利益配分につきましては、企業体質の強化・充実並びに将来の事業展開等を勘案し、また、安定的かつ継続的に利益還元を行うことを基本方針としております。

なお当中間期におきましては前期末にご報告させていただいたとおり、配当を見送らせていただき、年間目標を達成させることで、当期末配当予想を5円とさせていただきます。

建設業を取りまく環境は、依然として厳しい状況にありますが、当社は、事業競争力、収益力の一層の向上に向け、努力を続けてまいりますので、株主の皆様におかれましては今後とも、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成22年3月

■ 中間単体貸借対照表 (要旨) (平成21年12月31日現在)

科目	当中間期末 第39期	前期末 (参考) 第38期
(単位:百万円)		
(資産の部)		
流動資産	5,270	6,212
固定資産	8,244	8,391
有形固定資産	3,539	3,653
無形固定資産	72	88
投資その他の資産	4,631	4,649
資産合計	13,514	14,604
(負債の部)		
流動負債	6,196	8,112
固定負債	5,658	4,660
負債合計	11,855	12,773
(純資産の部)		
株主資本	1,647	1,798
資本金	867	867
資本剰余金	549	549
利益剰余金	317	468
自己株式	△86	△86
評価・換算差額等	11	32
その他有価証券評価差額金	11	32
純資産合計	1,659	1,831
負債・純資産合計	13,514	14,604

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 中間単体損益計算書 (要旨) (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)

科目	当中間期 第39期	前中間期 (参考) 第38期
(単位:百万円)		
売上高	7,106	5,848
売上原価	6,242	5,144
売上総利益	863	703
販売費及び一般管理費	742	860
営業利益 (△損失)	120	△156
営業外収益	23	21
営業外費用	129	141
経常利益 (△損失)	14	△276
特別利益	9	—
特別損失	108	203
税引前中間純利益 (△損失)	△83	△480
法人税、住民税及び事業税	3	7
中間純利益 (△損失)	△86	△487

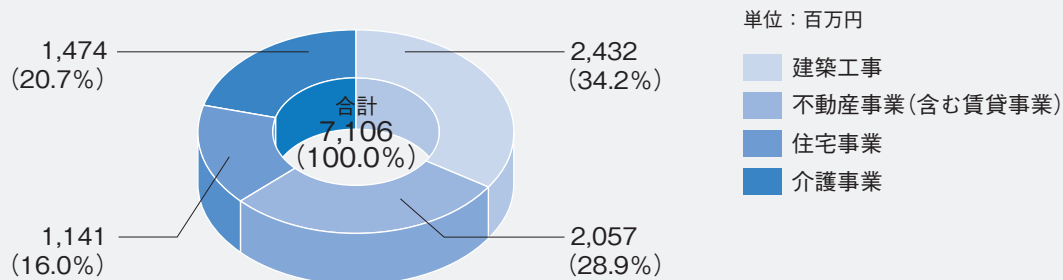
※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 中間単体キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)

科目	当中間期 第39期
	(単位：百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	724
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172
現金及び現金同等物の増加・減少額	530
現金及び現金同等物の期首残高	567
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,097

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 単体売上高構成比



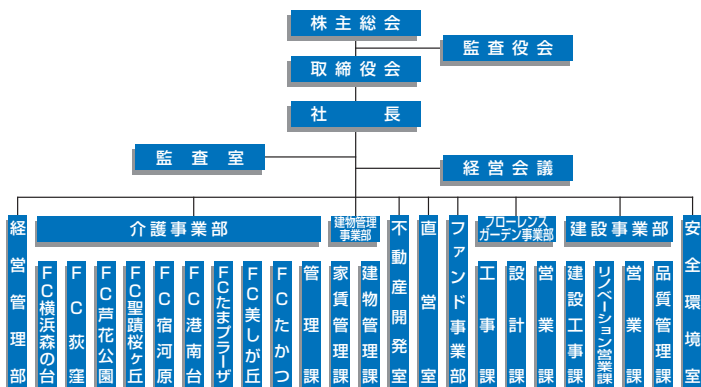
■ 会社概要 (平成21年12月31日現在)

商号	工藤建設株式会社
設立	昭和46年7月1日
代表者の氏名	工藤 英司
事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
従業員数	419名 (男子207名、女子212名)
事業所	
本社	横浜市青葉区新石川4-33-10
東京支店	東京都港区浜松町2-10-4 (イマス浜松町ビル7階)
多摩営業所	東京都町田市南大谷1327-153
フローレンスガーデン横浜新	東京都練馬区下石神井1-2-27
建物管理事業部	横浜市都筑区茅ヶ崎中央56-12
介護事業部	川崎市高津区久本3-5-7 (新溝ノ口ビル5階)
フローレンスケアたかつ	川崎市高津区久未1744-2
フローレンスケア美しが丘	横浜市青葉区美しが丘4-43-4
フローレンスケアたまプラーザ	川崎市宮前区犬蔵2-17-65
フローレンスケア港南台	横浜市港南区港南台6-5-13
フローレンスケア宿河原	川崎市多摩区宿河原6-12-29
フローレンスケア聖蹟桜ヶ丘	東京都府中市日新町5-53-1
フローレンスケア芦花公園	東京都世田谷区南烏山2-32-28
フローレンスケア荻窪	東京都杉並区荻窪2-4-29
フローレンスケア横浜森の台	横浜市緑区森の台12-12

■ 役員及び執行役員 (平成21年12月31日現在)

取締役相談役	工藤 五三
取締役会長	工藤 次郎
代表取締役社長	工藤 英司
取締役	高橋 浩
常勤監査役	石田 米治
監査役	八重沢 知正
監査役	奥原 章男
執行役員	工藤 隆司 (フローレンスガーデン事業部長)
執行役員	工藤 隆晃 (経営管理部長)
執行役員	藤井 研児 (介護事業部長)
執行役員	秋澤 滋 (建物管理事業部長)
執行役員	田崎 功 (建設事業部長)

■ 組織図 (平成21年12月31日現在)



■ 株式の状況

発行可能株式総数	44,000,000 株
発行済株式の総数	13,312,200 株
株主数	995 名

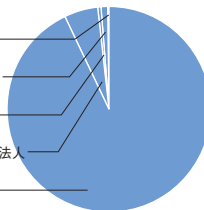
■ 大株主

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社トップ	5,720	42.96
工藤 五三	1,080	8.11
工藤 英司	559	4.20
工藤 隆司	558	4.19
株式会社横浜銀行	391	2.93
工藤 次郎	370	2.78
工藤建設株式会社	334	2.51
八重沢 知正	223	1.67
西田 要	159	1.19
株式会社三井住友銀行	114	0.85

■ 所有者区分別株式分布状況

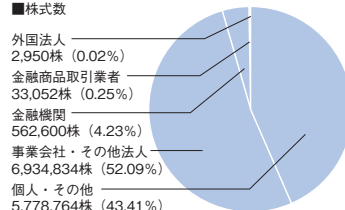
■ 株主数

外国法人	2名 (0.21%)
金融商品取引業者	10名 (1.05%)
金融機関	5名 (0.52%)
事業会社・その他法人	51名 (5.34%)
個人・その他	887名 (92.88%)

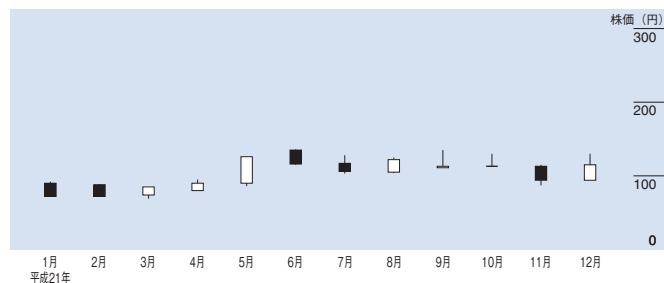


■ 株式数

外国法人	2,950株 (0.02%)
金融商品取引業者	33,052株 (0.25%)
金融機関	562,600株 (4.23%)
事業会社・その他法人	6,934,834株 (52.09%)
個人・その他	5,778,764株 (43.41%)



■ 株価チャート



ホームページへのアクセスを
お待ちしております。

情報満載!

工藤建設のWEBサイトは、お客様とのコミュニケーションのコアとして、
充実した情報を提供。物件の紹介・販売にも大きな役割を果たしています。

<http://www.kudo.co.jp/>



株主メモ

事業年度	7月1日～翌年6月30日
期末配当金受領株主 確定日	6月30日
中間配当金受領株主 確定日	12月31日
定時株主総会	毎年9月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 電子公告により行う
公 告 の 方 法	公告掲載URL http://www.kudo.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。